

# SENA

セナで広がる。セナで繋がる。

## Part 1 ◆ 初めて使う

私もスタートした / みんなで会話がはずめば / 教えてもらいながら仲間と

## Part 2 ◆ 上手に使う

あなたにピッタリの1台が選べる / 旅の記録はドラマのよう  
ヘルメットの姿そのままに / ベーシックなモデル / シンプル、外から見えない

## Part 3 ◆ 便利に使う

SENAのアクションカメラ / 無線機もインターコムと繋がる

## Part 4 ◆ 賢く使う

アップグレードしてますか？  
SENA アプリ / 他社インターコムと繋がる / セナのリモートコントローラーを使う



SENA



<http://SenaBluetooth.jp/>



SENA 検索



<http://SenaBluetooth.jp/member/>

## Jogdial倶楽部のご案内 — About Jogdial CLUB —

Jogdial倶楽部は、SENAインカム製品ユーザー様へのホームページです。  
ご入会は、SENA正規販売店からご購入いただいた方に限られます。

ご入会方法など詳しい情報は、Sena Bluetooth Japan公式ホームページ (<http://senablueooth.jp/>) をご覧ください。  
(備考) Jogdial倶楽部は、インターソリューションマーケティングによって運営されています。

### ⚠ 安全に関するご注意

ご使用前に必ず「取扱説明書（ユーザーガイド）」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
水、湿気、湯気、ほこり、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

### SenaBluetooth Japan

【日本総代理店】株式会社インターソリューションマーケティング  
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-24-14 EXOS恵比寿ビル 5F  
TEL : 03-5795-2685 FAX : 03-5795-2686  
Mail : support@SenaBluetooth.jp  
URL : <http://SenaBluetooth.jp/>

【製造元】Sena Technologies, Inc.

本製品の開発・製造はSena Technologies Inc.です。製品名、会社名は、各社の商標あるいは登録商標です。  
製品仕様、製品価格は断りなく変更されることがありますので予めご了承ください。  
本誌内容（全部または一部）の無断使用、転載、記載、複製、転用、加工を固くお断りします。

©インターソリューションマーケティング 2017  
掲載記事及び写真協力：えい出版社 BikeJIN / Sena Technologies Inc. / InterSolutionMarketing inc.

カタログ番号 CAT-INTERCOM-20170228

## 製品ラインアップ

※最新情報は、セナ・ブルートゥースジャパン公式サイトを参照ください。

### ヘッドセット & インターコム モーターサイクル

30 16人通話可能(同時)



**30K**  
NEW

20 8人通話可能(同時)



**20S**

ユニバーサル型  
(オープン向き/フルフェイス向き)  
シングル 価格 33,400円(税別)  
デュアル 価格 64,800円(税別)

10 4人通話可能(同時)



**10S**

シングル 価格 27,400円(税別)  
デュアル 価格 52,800円(税別)



インターコムカメラ内蔵  
**10C**

シングル 価格 49,800円(税別)



特定ヘルメット専用\*  
**10U**

シングル 価格 39,800円(税別)  
※SHOEI GT-Air専用、SHOEI Neotec専用、  
Arai Full-face専用の3モデル  
(ハンドルパーリモン付)

5 4人通話可能(切替)



**SMH5**  
UNIVERSAL PACKAGE

ユニバーサルパッケージ  
(ブーム型マイク、ケーブル型マイク両備)  
シングル 価格 16,400円(税別)  
デュアル 価格 30,800円(税別)



**SMH5-FM**  
UNIVERSAL PACKAGE

ユニバーサルパッケージ  
(ブーム型マイク、ケーブル型マイク両備)  
シングル 価格 18,800円(税別)

3 2人通話可能(自分と相手)



**3S**

ブーム型マイク(3S-B)  
シングル 価格 12,400円(税別)



**3S**

ケーブル型マイク(3S-W)  
シングル 価格 13,400円(税別)

### ヘッドセット & インターコム 汎用



**TUFFTALK**

NEW



**SPH10**

シングル 価格 26,400円(税別)



**BT10**

価格 23,100円(税別)

### カメラ



**PRISM TUBE**

シングル 価格 19,800円(税別)



インターコムカメラ内蔵  
**10C**

シングル 価格 49,800円(税別)

### 周辺機器

#### アダプター



Honda GoldWing®, Harley Davidson®  
**FREEWIRE**

NEW



無線機コンバーター  
**SR10**

価格 25,200円(税別)



タンデム用シェアアダプター  
**SM10**

価格 19,200円(税別)



GoPro®用インターコムカメラアダプター  
**GP10**

防水ハウジングなし 価格 14,400円(税別)  
防水ハウジングあり 価格 18,800円(税別)

#### リモートコントローラー



**RC1**

NEW



**RC3**

NEW



**RC4**

NEW



ハンドルパーリモン

20S,10C,10U用  
シングル 価格 15,400円(税別)



リストバンドリモコン

20S,10C,10U用  
シングル 価格 15,400円(税別)

### ヘッドセット & インターコム バイシクル & アウトドア



**SMART CYCLING HELMET**

NEW

## 目次

### 2 ... 製品一覧

#### Part 1 ◆ 初めて使う

4 ... 私もスタートした仲間と繋がる体験!

6 ... 使い方を知って遊びの幅が広がった

8 ... 教えてもらいながら、仲間との時間を過ごす

#### Part 2 ◆ 上手に使う

10 ... あなたにピッタリの1台が選べる - 外から見える・見えないインターコム - "話す"・"聴く・聞く"から"撮る"・"録る"まで

14 ... 旅の記録はドラマのよう...10C - 楽しい会話も景色も一緒に残しておける

16 ... ヘルメットの姿はそのままに...10U - ワインディングを走ると何も着けてないよう

18 ... ベーシックなモデル...SMH5/5FM - 日常会話をツーリング中も楽しむ - 大きなダイヤルで直感的に操作できる

20 ... シンプル、外から見えない...3S - 街中をスマートに走る見えないインターコム - ほぼ操作の必要がない、一人で使うのに最適

#### Part 3 ◆ 便利に使う

22 ... SENAのアクションカメラ...PrismTube

- 自分の語り方で使い方の幅が広がる。 - 自分の語り方で使いかたの幅が広がる - 「声」をキーワードにした楽しいアクションカム

24 ... 無線機もインターコムと繋がる...SR10 - ワイヤレスで新たなコミュニケーションツール - トランシーバーもインターコムで使える

#### Part 4 ◆ 賢く使う

26 ... アップグレードしてますか?

- 最新のファームウェアにすれば、より使いやすくなる - ジョグダイヤル倶楽部とは!? - ジョグダイヤル倶楽部活用術

29 ... SENA アプリ

30 ... 他社インターコムと繋がる

31 ... リモートコントローラー・セナ製品をもっと便利にお使いいただくために

32 ... 新製品 2017

34 ... 製品モデル機能を比べる

(ご注意) ※上記内容は、2017年3月1日現在の内容になります。 ※製品仕様・価格は、断りなく変更される場合がございます。



SENA



# 私もスタートした 仲間と繋がる体験 10S



装着した初インターコムは  
使いこなしたい！

十数年のブランクを経てリターンライダーに返り咲いた私にとって、今のバイクに触れることはまこと浦島太郎のごとき驚愕の連続なんだけど（たとえばABSとかデュアルクラッチとか）、なんといつても一番のビックリは、通信系電子デバイス定番化という浸透率というか、知らない間にみんな普通にインターコムを使っているんですね！ つてこと。

ありがたいことにお仕事でツーリングをすることも多いのだけど、そうするとめれなくヘルメットにインターコムを装着した状態で下さる。ライダー同士はバイクのグリップを握りつつも会話を楽しみながクルーズができるのだ。

最初は私も「そんなもんイランやろ」と思っていた。昭和の硬派なライダーだった私は、「バイクなんてもんは自分との禅問答の場喋りながら走るなんて言語道断じや！」と、固く信じてたんだもん。いくら孤独を楽しみたたくても、お仕事の依頼とか好きな人からのコール（きやつ）とか、逃したくないアレコレが存在するのも事実。それに、インターコムの真髄である『走行中にツーリングメンバーと話せる』つてことがそもそも、



予想していた何百倍も楽しくて素晴らしいものだったこと、このセナの10Sを使って、知ってしまったのですよ！ まさに黒船。まさに開国。文明開化の音がヘルメットの中に聞こえちゃいました。そうならなくても立っていてもいられなくて、早速マイヘルメットに装着してみる。簡易式の説明書はシンプルな書き方なので、少し苦戦。たぶん並の女子よりは若干、機械モノには強いハズなんだけどな……。工具やパーツはすべて入っている

て、用意するモノがない。分からないことはセナのユーザー登録した会員専用サイトに情報があるし、動画を見ながら完成！ 私の愛用ヘルメットだと、中のチークパッドを一旦ベリッと引きはがしてから作業がとってもラク。この辺、各ヘルメットメーカーによって若干違いがあるので、購入したショップがセナプロショップなら装着をお願いするのもいいと思う。

インターコムがあれば、ルートの相談からなんてことのない話しまで気軽にできるのが最高に便利。話さないときも、本体のスイッチひとつでオフに！



**10S**  
価格：2万9592円（ソロ）  
5万7024円（ペア）  
同時通話：4人  
通信距離：最大1.6km

好みの位置に  
すぐに変えられる！

携帯電話のペアリングも、インターコム同士のペアリングも、本体のボタンを押すだけという手軽さ。スピーカーはマジックテープ式なので、位置を調節するのもラクラク。本体がとても小さいので、ヘルメットのデザインにしっかりなじむ！



使い方を知って  
遊びの幅が広がった！

ただ立っているだけで  
滝のような汗が頬を  
伝った酷暑の夏の遠の  
き、いよいよツーリン  
グには最高の季節、秋  
がやってきた！

どこに出掛けるか、  
それを考えるだけでワ  
クワクシちゃうのはバ  
イク乗りのサガなのか  
もしれない。

いや、モチロン夏だ  
って個人的にはガンガ  
ンバイクに乗っていた  
けれど、あんまり暑い  
とね、どこか修行っぽ  
い雰囲気も漂うから、  
誰でも気軽に誘えるよ  
うな状況じゃないし、  
気を遣わずに「どっか  
走りに行こうよ！」っ  
て言えるこの時期は、  
まさにベストシーズン  
なのだと思う。という  
わけで、涼しくなっ  
てきた気候にミカタしてもらって、  
今回はありったけのバイク友達に  
声をかけてみた。

「いいね！ 行く行く！」なんて

ノリよく集まってくれたのはなん  
と8人！ こうなると、みんな  
出かけられて嬉しいんだけど、統  
率が取れなくなっちゃうのが心配  
だって、集まった人数だけ寄りた  
い場所も、トイレのタイミングも  
それぞれなんだもの。台数が増え  
たらジェスチャーでのコンタクト  
にも無理があるし、さて、いった  
いどうしたものか……。

昔だったら、エイヤと気合でな  
んとかするしかなかったそんな大  
人数ツーリング、今はライダー同  
志を繋ぐ、もんのすんごい便利な  
ツールがあるんだって！ それが  
お馴染みのセナ・インターコム  
の上位機種、20S。

なんとこの20S、まさにドンピ  
シャ最大8人のインターコムを、  
Bluetoothで繋ぎ会話ができ  
るのだそう！ スゴイ！

で、しっかり学習するために、  
ジョグダイアル倶楽部という会員  
サイトに登録して、ダウンロード  
したユーザーガイドがもう、分厚  
いのなんの(涙)。これ、使う前  
にココロがくじけちゃいそうなん  
だけど。しかし、今回のツーリン  
グメンバーには、セナのインター  
コムに詳しい大先輩がいるってこ  
とで、読みながら遠慮なくいろい  
ろ教えてもらうことにした。なん

# みんなで会話が はずめばツーリングが もっと楽しくなる 20S



ツーリングのとき  
アプリが便利なんだ!

これでみんな  
一緒に会話ができるね!

## 20S

価格：3万6072円（ソロ）  
6万9984円（ペア）  
同時通話：8人  
通信距離：最大2km



グループインターコムの設定で、スマートフ  
ォンに残り7台をグループ登録。私の20Sに  
情報を転送したら接続して会話がスタート



**SENA アプリ**  
Android, iOS 対応

アプリでは、SENAの20S、10シリー  
ズのインターコムに接続が可能で、機  
能の設定が画面上で変更できる。数字  
の入力が必要なFMラジオやスピード  
ダイヤルなども確認しながら行える。取  
扱い方法などもカンタンに入手可能だ  
(英語のみ)

## 同じ場所に向かう道中も繋がる会話を楽しむ

自分のスマホにセナのアプリをダウンロードしてBluetoothと接続。アプリを起動してメニュー内から「グループインターコム」でメンバー全員のインターコムをアプリ上で登録していけばいいという気軽さ！なんといっても素晴らしいのは、このアプリをメンバーのうち一人が操作すれば、あとのメンバーは何もしなくても繋がれちゃうというラクチンさなのだ。ちよつと機械系に弱いメンバーがいたって、詳しい人が親になれば、チャチャッと設定ができちゃう。

ツーリングに出かける朝は気が急いで、一刻も早く出掛けたくなっちゃうけど、これならスマホの画面上でまさに「見える化」の設定が可能なんだから、時短にもなつて一石二鳥。1回設定したら、メンバーの登録を保存することもできるから、おなじメンバーでもう1回集まってツーリングするときはラクラク。

私はこれまで2人以上の通信をあまり経験したことがなかったんだけど（それはそれで相当に楽し

いものなんだけど）、人数が増えれば増えるほど、この20Sの恩恵をひしひしと実感しちゃった。とくに、いきなりの進路変更や寄り道、休憩のタイミングなどをリアルタイムで相談できるのは頼もしい。心に余裕ができるから、景色だってより一層楽しめちゃうオマケまで付いてくる。

お互いの目を見ずに、バイクに跨っていろいろと話せるから、普段シャイなメンバーの知らない一面を垣間見ることもできちゃって、なんだか友情もより一層深まったような気がする。



最初からアプリが使いこなせたわけじゃない。インターコムを使うベテランに聞いてみよう！

さて、20Sは最上位機種ということで、ほかにも様々な機能が満載だ。たとえばオーディオマルチタスクなら「会話と音楽を同時に楽しみたい！」って時も、インターコム通話中にバックグラウンドで音楽やナビ、FMラジオを楽しめちゃう。また、アンビエントモード。これはヘルメットを被ったまま、外の音を聴けるとい



左上のジョグダイヤルは回転とタップの動作で、音量調整やインターコム通話の設定、メニューの呼出しができる。右上のアンテナが開まる。右下のフォンボタンでペアリングや電話応答、FMラジオが起動する



### ハンドルリモコン（別売）

価格：1万6632円  
連続使用期間：3カ月  
充電時間：2時間  
通信距離：10m

このリモコンを使えば、ハンドルからヘルメットの本体へ手を伸ばす必要がなくなり安全。さらにジョイスティックと2つのボタンを操作でペアリングが可能になる



アンビエントモード起動は2回押しで本体のマイクから集音し周囲の音が聞きやすくなる。1回押しならボイスコマンドモード



## 教えてもらいながら仲間との時間を過ごす

この先の信号で左に曲がるよ！

分かりました！コンビニあります？

左ですね！コンビニあるよ！

### 使い方を知りたい時はWebなどをチェックしよう

ツーリングの前に、インターコムの設定で使い方を確認したくなったら、ユーザーガイド以外にもカンタンに使い方を知ることができるようになっておこう！

#### ツーリング前

### 1 設定操作ガイドを読む

購入した時に付属の設定操作ガイドを、まずは読んでみよう。基本の使い方が掲載されている



### 2 Webをチェック



SENAのホームページへアクセスし、使い方を動画で解説したサイトを利用しよう。Web動画を観れば、グループインターコム機能や他社インターコムとのペアリングの仕方など、30種類以上が用意されている

<http://senablutooth.jp/>

### 3 Webから問い合わせる



SENAの会員サイト「ジョグダイヤル倶楽部」に登録しておけば、FAQや、アップデート情報などが展開、問合せフォームも用意している

<http://senablutooth.jp/regist/>

### 4 プロショップに聞く



製品を購入したSENAプロショップで直接、使い方のアドバイスを受ける

話す、聞くから  
撮る、操るまで

仲間と一緒に走っている、走行中は1人の世界というのが常識だったバイクのツーリング。そこに走りながら仲間とおしゃべりをするという、新しい楽しさを持ちこんだのがインターコムだ。

お互いをつなぐのにBluetoothという無線通信規格を採用していることもあって、スマートフォンとも接続が可能。その結果、インターコム同士の会話だけでなく、スマホ通話ができたり、音楽を聴くことや、ナビアプリの音声案内を聞いたり、FMラジオを聞くなど、バイクで走りながらインターコムを通じていろいろなことができる。そんな便利さから、こ

数年で瞬く間に普及したインターコム。今まではヘルメットの外に取付けるものが主流だったが、ヘルメットの中に本体を仕込むタイプも登場した。さらに、アクションカムと組み合わせたり、カメラと一体となったものなど、話す、聞く、ことだけにとどまらず、ツーリング中などのシチュエーションで、その瞬間の感動を残せるようなアイテムになっているのだ。

セナのインターコムは、こうしたライダーのあらゆるニーズにインターコムというアイテムを通じて応えてくれる。豊富なセナのラインナップの中から、アナタにぴったりの1台を見つけてほしい。

# アナタにピッタリの1台が選べる

## 機能設定の閲覧ができる

20Sや10シリーズではスマホから「SENAアプリ」の使用可能が対応。短縮ダイヤルやFMラジオの周波数設定、20Sはグループインターコムのリスト設定から接続操作までできる。画面を見ながら操作できる快適さは手放せない



SENA アプリ

- 20S
- 10S
- 10C
- 10U
- SMH5シリーズ
- 3Sシリーズ

## 外から見える インターコム

### 10C

価格:5万3784円 同時通話:4人  
通信距離:最大1.6km

アクションカムと一体になったインターコム。フルHD画質の動画に、インターコムを通じた会話の音、FMラジオの音を録音でき、マイク3SDに保存される



### 20S

価格:3万6072円(ソロ) 6万9984円(ペア)  
同時通話:8人  
通信距離:最大2km

SENA インターコムの最高峰モデルで、2個のBluetoothモジュールにより音楽を聴きながら会話できる。グループインターコムで最大8人の通話も可能だ



### SMH5-FM

価格:2万304円  
同時通話:2人  
通信距離:最大700m

SMH5をベースにFMラジオ機能を搭載したモデル。FM放送に加えてAM補完放送も受信可能だ。オートスキャンや10局のプリセット機能も装備



### 10S

価格:2万9592円(ソロ) 5万7024円(ペア)  
同時通話:4人 通信距離:最大1.6km

ラインナップの中でスタンダードモデルに位置付けられ、最大4人で同時通話ができる。グループインターコムやデュアルA2DPといった機能も搭載している



### SMH5

価格:1万7712円(ソロ)  
3万3264円(ペア)  
同時通話:2人  
通信距離:最大400m

コンパクトなベーシックモデル。最大通話人数は2人だが、音楽共有機能や短縮ダイヤル機能を装備。ソロやタンデムでの利用に最適だ

## 音楽を聴きながら話す

20Sにはスマホの音楽やナビの音声案内をバックで流しながら会話ができるオーディオマルチタスク機能を搭載している。会話中でもナビの音声案内を聞き漏らすことがない使える機能だ

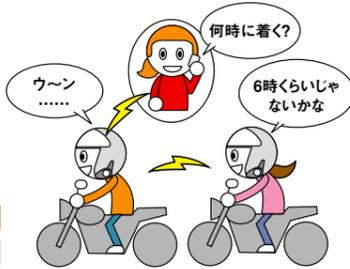
- 20S
- 10S
- 10C
- 10U
- SMH5シリーズ
- 3Sシリーズ



## 会議機能で話す

かかってきた電話(発信も含む)をもう1人のインターコムと共有して会話できるのがカンファレンス(会議通話)機能。タンデム中に自宅と連絡を取るといったようなときに活用できる

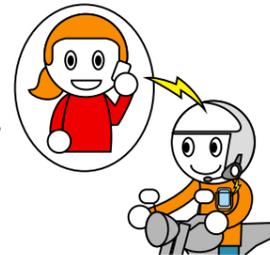
- 20S
- 10S
- 10C
- 10U
- SMH5シリーズ
- 3Sシリーズ



## 電話で話す

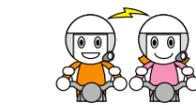
インターコムの主な機能のひとつが電話の通話機能。かかってきた着信はもちろん、ボタンひとつで発信もできる。また、ボタン操作で通話先を選んで、電話をかけるといったことも可能だ

- 20S
- 10S
- 10C
- 10U
- SMH5シリーズ
- 3Sシリーズ



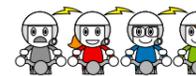
## 2人で話す

- 20S
- 10S
- 10C
- 10U
- SMH5シリーズ
- 3Sシリーズ



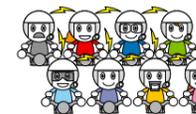
## 3~4人で話す

- 20S
- 10S
- 10C
- 10U
- SMH5シリーズ
- 3Sシリーズ



## 8人で話す

- 20S
- 10S
- 10C
- 10U
- SMH5シリーズ
- 3Sシリーズ



ほかの人と会話できるインターコム機能には、2ウェイ(2人)、3ウェイ(3人)、マルチウェイ(8人)モードがあり、状況に応じて使い分けが可能。さらに20Sにはグループインターコム機能があり、最大8人のグループをワンタッチで呼び出して会話ができる



SR10  
価格:2万7216円

ハンディトランシーバーがインターコムで使える双方向無線機用アダプタ

## 無線で話す

SR10を使えばトランシーバーもワイヤレスでインターコムに接続できる。煩わしい無線機とヘルメット間のケーブルがなくなるうえに、スマホやライダーもこのSR10に接続して使える

- 20S
- 10S
- 10C
- 10U
- SMH5シリーズ
- 3Sシリーズ



## アンビエント機能で話す

20Siに搭載されているアンビエント機能は、インターコム本体に内蔵したマイクが拾った音をスピーカーに流してくれる。有料道路の料金所でこの機能を使えば、係員の声も聞きとりやすい

- 20S
- 10S
- 10C
- 10U
- SMH5シリーズ
- 3Sシリーズ



## 他社メーカーと話す

ユニバーサルインターコム機能を使えば、通話の相手がSENAのインターコムでなくても会話ができる。市販の携帯電話用ヘッドセットとも通話できるため、工夫次第で利用シーンは幅広い

- 20S
- 10S
- 10C
- 10U
- SMH5シリーズ
- 3Sシリーズ

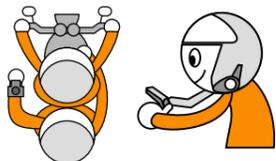


Control  
「リモコンで操る」

ヘルメットに  
直接触れずに操作できる

20Sと10シリーズならハンドルから手を離さずに手元のリモコンでインターコムを操作できる。ボタンを見ながら操作できるなど確実＆安全性も高まる

- 20S 10S 10C 10U
- SMH5シリーズ 3Sシリーズ



手元で操作



リストバンド  
リモコン

価格：1万6632円  
連続使用時間：3カ月  
充電時間：2時間  
通信距離：10m

こちらのリモコンは手首に巻いて使うのが特徴だ。ハンドルにハンドルバーリモコンが付けられないバイクであったり、そのほかのスポーツやアクティビティで使うのにオススメ



ハンドルバー  
リモコン

価格：1万6632円  
連続使用時間：3カ月  
充電時間：2時間  
通信距離：10m

ハンドルから手を離さずにインターコム機能のほとんどの操作ができるワイヤレスリモコン。20Sと10シリーズが対応しており、取付けもハンドルバーを挟むだけと簡単だ

外から見えない  
インターコム



【SHOEI GT-Air用】

【SHOEI NEOTEC用】

10U

価格：4万2984円  
最大通話人数：4人  
同時通話：4人  
通信距離：最大1.6km

10Sの機能・性能はそのままに、ヘルメットごとの専用設計をし、インターコムの要素をほぼすべて帽体内に収めたスタイルが最大の特徴。現在、AraiとSHOEI用に4モデルがラインナップする  
※ハンドルバーリモコン同梱



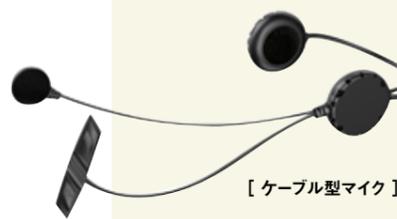
【SHOEI J-Cruise用】

【Arai フルフェイス用】

3S

価格：1万3392円（ブーム型マイク）  
1万4472円（ケーブル型マイク）  
同時通話：2人 通信距離：最大200m

必要最低限の機能に絞ることで、求めやすい価格とシンプルなスタイルを実現したエントリーモデル。メインユニットとスピーカーを一体化したユニボディが個性的なデザインだ



【ケーブル型マイク】



【ブーム型マイク】

カメラ機能搭載機種



GoPro用インターコムアダプタ

GP10

価格：1万5552円  
録画時間：3時間 充電時間：2.5時間  
通信距離：最大100m  
対応GoPro：3、3+、4

GP10はGoProの背面にぴったり装着できるBluetoothアダプタだ。10Cと同じように、インターコム通話の音声を映像と同時に録音ができる。GoPro本体は含まれていない

バイク用カメラ  
PRISM  
TUBE

価格：2万1384円  
録画時間：2時間  
充電時間：3時間  
視野角：125度

リング状のスイッチをスライドするだけでフルHDの動画撮影録音ができる。インターコム同様、ヘルメットに簡単に装着できるマウントが付属している



カメラ搭載  
インターコム

10C



音声も  
一緒に録音

SENAのカメラ機能搭載機種は、自分の声を映像と同時に記録できるのが特徴だ。また10CやGP10では会話の相手の声も記録できる。走行映像に声が入るだけで、とくに編集せずに、立派な走行ムービーが完成する

PRISM TUBE

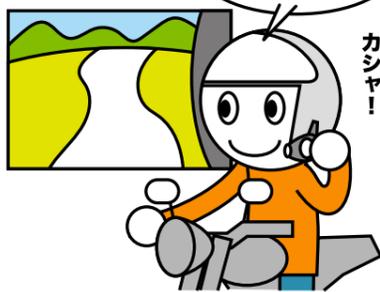
10C

GP10+GoPro

気になった場所で  
写真撮影  
ができる

カメラとインターコムが一体になった10Cは動画だけでなく写真も撮れる。写真モードにしておけば、ボタンを押すだけで35メガピクセルの写真が撮影可能。連写やタイムラプス撮影もできるなど、表現の幅も広い

カシャ！



PRISM TUBE

10C

GP10+GoPro

撮る

REC

ナビやレーダーの  
音声案内を聴く

インターコムはBluetoothを搭載したポータブルナビやレーダー探知機とも接続可能。20Sのみオーディオマルチタスク機能を使えば、これらの音声を会話のバックで聞ける

- 20S 10S
- 10C 10U
- SMH5シリーズ
- 3Sシリーズ



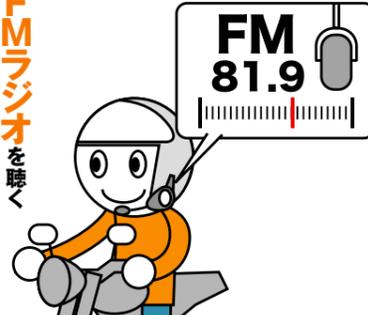
次は  
右折です

200m先  
Nシステム

FMラジオはBGM代わりに聞けるだけでなく、交通情報番組を聞けば渋滞や事故の情報を走りながら得ることが可能だ。また地元のイベントやグルメといった生活情報も収集できる

FMラジオを聴く

- 20S 10S
- 10C 10U
- SMH5-FM
- 3Sシリーズ



FM  
81.9

「聴く・聞く」

Listen

音楽を聴く

スマホや音楽プレーヤーに入れたお気に入りの曲を高音質のステレオで楽しめる。ミュージックシェア機能を使えば、もう1人の相手に同じ音楽を聴かせてあげることができる



- 20S 10S
- 10C 10U
- SMH5シリーズ
- 3Sシリーズ

※3Sにはミュージックシェア機能なし

楽しい会話も景色も一緒に残しておける

リターンライダーとしてバイクライフに復帰したあと、すぐに出合ったセナのインターコム製品は、今や、私の「走りたい欲」を大幅に掻き立ててくれる立派な相棒になっている。

走行中に、ツーリング仲間とおしゃべりできるなんてスゴイ！モチロン運転中にのべつまくなし喋るわけじゃないけど、「ちよつと寄り道しない？」「OK、せっかくだから写真も撮ろうよ！」なんて相談を、バイクを降りずして可能にするなんて素晴らしい。

走行中にバイク同士が繋がるっていうのは、まさに21世紀のミライ道具そのものかも。

ツーリング中の気遣いが面倒で、ずっとソロツーリングの多かった私だけど、インターコムを使えばメンバーそれぞれの希望をツーリング中に反映させることができちゃうから、お出かけが倍楽しくなること請け合いなのだ。

さて、今回私がプチ旅に連れ出

# 旅の記録はドラマのよう 10C



走っている姿も景色もバッチリ!

私の声も入って後で見るのが楽しみ!



microSDを入れるだけ!



10C

価格：5万3784円  
同時通話：4人  
通信距離：最大1.6km

絶景道の連続に、暑さも忘れてひた走っちゃった。あまりに海が綺麗だったから、途中で、岩場でお散歩したり。透명한潮だまりにすいすい泳ぐ魚を見つけるときも、「10C」さえあればスマホもカメラも持ってなくたってすぐに写真に収めておける。



これが実際に使ってみた画像！クリアでダイナミックな映りに感激した。機能満載だけど本体は軽く、驚くほどコンパクト。マイクロSDを取出せば、タブレットなどを使ってその場で画像が確認できるのだ。休憩時間も大盛り上がり!



録画スタートはトップのボタンを押すだけ。さらにカメラ機能も付いて、静止画だってお手のモノ。ヘルメットだけ持って海辺に行けば、カメラやスマホを持っていなくても、撮影ができちゃいます！位置調整もレンズを回すだけとカンタン!



したのカメラ内蔵の「10C」。なんとコレ、コンパクトでスタイリッシュな外観にアクションカムとインターコムをひとつに詰め込んだ、画期的なモノ。インターコムは前に紹介した「10S」のインターコム機能がほぼそのまま入っているから信頼性もバツグンなうえに、動画も、静止画だって撮れてしまうし、会話中の声も録音されるという盛りだくさんが魅力だ。さらに、最新のファームウェアにアップデートすれば、録画をループレコードでできる。この機能を使えば、もし、メモリーの容量がいっぱいになりそうでも、動画で残しておきたい場面を録り逃さない。

さらにこの「10C」で私が個人的にイイネ！と感じたのは、自分の声だけでなく通信している相手の声も同時に保存しておけるってトコロ。これで、ツーリング中の新鮮感動を、いつまでも残しておけるってワケ。

さて、今回この「10C」と出掛けたのは真夏の外房。こんなに海が碧いなんて！と女子ふたり、思わず歓声をあげてしまうほどの

そのあと、恒例のスイーッタイムを利用しながらすぐに撮った動画をタブレットでチェック。お互いのはしゃぎようを見て、もう1回笑っちゃいました。



ワインディングを走ると何も着けてないよう

さて、今回の私の旅の相棒になつてくれたのは、仕事仲間のアイドルMちゃん。愛車を駆つての参加で、ツーリングは久々なんだとか。うん、じゃあもつと遠くまで走ってみよう！ そんな相談をしたいから、Mちゃんにもセナのインターコムを付けてもらった。

彼女が選んだのは「10U」。なにやら彼女はコダワリのヘルメットだとかで、端末が外側に出っ張っちゃうのはイヤなんだって。うん、それもとってもよく分かる。かっこいいヘルメットはデザインをキープしたいもんね。

そんな人にオススメしたいのが、まさにこの「10U」。ヘルメットの内側に全部のインターコムを仕込めるから、外側からはまるでなんにも着けていないように見えるスグレモノだ。Mちゃんみたくオープンフェイスタイプのヘルメットなら、通話のためのマイクが口元にチョロっと出ている、たったそれだけ。フルフェイスだったらこのマイクさえも外からは見えないうちというスッキリデザインだ。

じゃ、どうやって端末を操作するの？ と思うなかれ。ハンドル

に取付けるリモコンが付いてくる。

このハンドルバーリモコンも、どんなバイクにも合うようなシンプルでデザインが特徴で、操作用にジョイスティックとボタンを備えている。もちろんグローブのままでも使い勝手は上々で、手の小さなMちゃんでも操作がカンタンだから、装着してすぐにスイスイと使いこなしていた。

今回の旅では、せっかく緑のキレイな千葉に来たんだから、とワインディングにも誘ったんだけど、右へ左へと切り返すようなコーナ



でも、クラッチ操作を邪魔しないこのハンドルバーリモコンのコンパクト設計には驚いたんだとか。むしろ、手元に操作系が固まっているほうが、ハンドルから手を離さなくてもいいから安心だったみたい。意外な利点アリって感じ？

ただしこの「10U」、特殊なデザインだけにどのヘルメットにもフィットイングできるワケじゃないから気を付けて！ 適応機種はセナのホームページを確認を。

# ヘルメットの姿はそのままに 10U



10U

価格：4万2984円 同時通話：4人  
通信距離：最大1.6km  
※ハンドルバーリモコンを含む



SHOEI J-Cruise用



Arai フルフェイスヘルメット用



SHOEI NEOTEC 用



SHOEI GT-Air 用



マイク部のボタンで音量などの操作が可能。ボタンも少し大きめに設計されていて、コチャもグローブしたまま操作しやすい

ハンドルバーリモコン。10Uには同梱。別売りで販売されていて、他のモデル(20S、10S、10C)がペアリング可能



SENA公式サイトに登録して最新情報を入手しよう!  
ファームウェアのアップデートで、バージョンアップできるから、マメにチェックしておきたいのが公式のウェブサイト。新製品のチェックも大切だけど、お持ちのインターコム情報の収集もお忘れなく! SENA正規店から購入された方は、製品本体に記載されている番号で登録でき、最新情報を収集できる

大きなダイヤルで直感的に操作できる

ハイエンドからベーシックなモデルまで、幅広いラインナップを揃えるセナのインターコム。このラインナップは、「見えるインターコム」と「見えないインターコム」の両方を揃えているのが、セナ・インターコムの大きな特徴だ。

この「見える」と「見えない」の違いは、ヘルメットの外にインターコム本体が付いているかという違い。「見えるインターコム」は、帽体の縁にインターコム本体を取付けて、そこにあるボタンや

ダイヤルを操作する、一般的なスタイルのもの。見えないインターコムは、本体にあたる部分も含めてヘルメットの中に仕込んでしまうもので、ヘルメットの外からはパッと見てインターコムが付いていることが分からない。

セナでは「インターコムを初めて使う」というライダーのために、5シリーズと3シリーズを用意している。このうち、「SMH5/5FM」は「見えるインターコム」のベーシックモデルだ。

旅にマッチした機能性

SMH5/5FM マッチ箱サイゾのクローンとした本体に機能が満載。インターコム会話はタンデムやペアで会話でき、フレンド登録は3台可能だ。また、スマートフォンと接続すれば、電話ができるのはもちろんのこと、アプリを使って音楽を聞いたりナビの音声案内を聞くことだって可能だ。

さらにSMH5・FMであれば、FMラジオ放送を聞くこともできる。ラジオは定期的に流れる交通情報番組を聞けば渋滞や規制の様子が分かるなど、走りながら得られるツーリングの情報源としてもとても役に立つ。

そして、これからインターコムを使い始めるときに悩ましいのが、



SMH5

価格：1万7712円（ソロ） 3万3264円（ペア）  
同時通話：2人 切替え（選択）会話4人  
通信距離：最大400m（見通しの良い所）



SMH5-FM

価格：2万304円  
同時通話：2人 切替え（選択）会話4人  
通信距離：最大700m（見通しの良い所）

仲間が今持っているインターコムと接続できるかどうか。SMH5

/5FMは、セナ他モデルだけでなく、ユニバーサルインターコム機能を使い、他社インターコムとの会話が可能だ。

「見えるインターコム」のメリットは、なんといつでも直感的な操作性のよさ。SMH5/5FMは、その小さなボディの半分を占めるかのような大きなジョグダイヤルが付いている。セナ・インターコム

のアイコンともいえるこのダイヤル。ライディング中のグローブをした手で操作するのに、とても使いやすいと定評だ。インターコムが初めての人も、すぐに使いこなせるようになるだろう。

ヘルメットを選ばずに装着可能

ヘルメットへの取付けは、帽体のフチを挟み込むクランプユニット（左）と、帽体に貼り付けるベースマウント（右）の2つのマウントを同梱する



高音質のスピーカー

薄くて小型のワイドレンジスピーカー。ヘルメットのイヤールに収めやすく、耳への干渉も少ない。面ファスナーで貼るだけと取付けも簡単



セナ・インターコムを特徴づけるジョグダイヤルと後面のフォンボタン。大きなダイヤルや突起のはっきりしたボタンは、グローブをした手でも、確実な操作ができる



スマホとナビを同時利用できる「マルチペアリング」

セナのインターコムはスマホともう一台のスマホ、もしくはHFPというプロファイルを利用するGPSナビを同時にペアリングして、切替えて使うことができる

ベーシックなモデル SMH5/5FM



# シンプル 外から見えない 3S



ほぼ操作の必要がない  
一人で使うのに最適

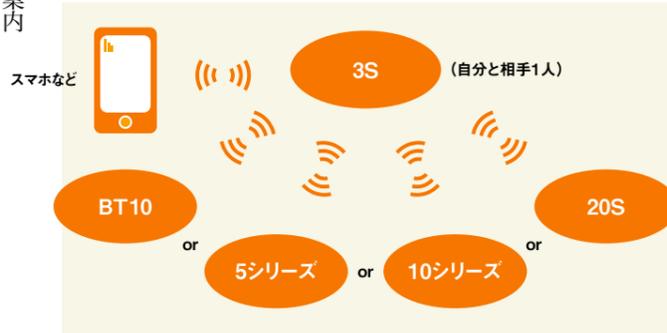
インターコム入門に最適なベーシックモデルの「見えないインターコム」が「3S」。いわゆる「本体」に当たる部分は見当たらず、ヘルメットの両耳の位置に付けるスピーカとマイクしかないようなスタイルが独特だ。物理的にはスピーカーとマイクしかないため、ヘルメットの帽体の外に付ける部分はまったく見えない。そのため、周囲から見ると、ヘルメットに付けていることが分からない「見えないインターコム」なのだ。

「見えるインターコム」の場合、操作は本体のダイヤルやボタンで行うが、「見えないインターコム」には本体に当たるものがないため、それができない。そこで、3Sでは、ブームマイクタイプはマイクの根元に、ケーブルマイクタイプはごく薄いボタンを帽体に貼り付けて操作するようになっていて、操作後のインターコムの状態は音声ガイドが教えてくれるから、「見えない」からといって操作が難しいわけではない。

このように、見た目には極めてシンプルな3Sだが、インターコムとしての機能はベーシックモデルとして必要十分なものが与えられている。インターコム会話は、

セナのインターコムとであれば、それでも接続が可能。また、スマートフォンと接続すれば、電話や音楽を聞く、ナビアプリの音声案内を聞く、といったことももちろんできる。また、セカンドフォンペアリング機能があるため、スマートフォンを2台接続したり、スマートフォンの1台とHFPに対応したGPSナビを接続するといった使い方も可能にしている。

これまでインターコムを使っていなかったライダーの中には、「デザインが気に入っているヘルメットにインターコムのようなものが付くのがイヤ」という声も少なくない。しかしこの「見えないインターコム」であれば、帽体にほぼ何も付ける必要がないため、デザインを損なうこともない。特にバイクに乗る中心が通勤通学やソロツーリングが多いというライダーの場合、音楽やナビの音声案内を聞いたたり、着信した電話に出るといった用途となる。その場合、ほぼインターコムを操作する必要がない。であれば、ヘルメットの表面にすっきり何も付けない、「見えないインターコム」を、ぜひオススメしたい。



他モデルとの  
ペアリングもOK

3Sとインターコム会話できる1対1の相手は同じ3Sに限らない。SMH5/FMをはじめ10、20シリーズなどと会話が可能。他社のインターコムとの会話はできない

ココで操作!



[ 3S-W(ケーブルマイクモデル) ]



[ 3S-B(ブームマイクモデル) ]

操作ボタンはわずか2つ（プラスボタン、マイナスボタン）だ。ブーム型マイクモデルはマイクの付け根に、ケーブル型マイクモデルは、帽体に貼り付けたパッドにボタンがありタップで様々な設定操作が可能



**3S-W**  
[ ケーブルマイクモデル ]

**3S-B**  
[ ブームマイクモデル ]

充電もカンタン

充電は本体から伸びるマイクロUSBケーブルから可能。充電のほか、ファームウェアのアップデートにも使用。充電は市販のUSB充電器が利用できる

**3S-W** ケーブルマイクモデル

**3S-B** ブームマイクモデル

価格：1万4472円（ケーブル型マイク）  
1万3392円（ブーム型マイク）  
同時通話：2人  
通信距離：最大200m（見通しの良い所）

# SENAの アクションカメラ Prism Tube



## 風景の「今」

思いがけずきれいな景色に出合ったら、プリズム・チューブをヘルメットから外して手で持って撮ってみよう。軽量、コンパクトなので手持ちでも安定して景色を撮ることができる

## 走行の「今」

走行中の動画をライダー目線で撮れるのがプリズム・チューブ。バイクではなくヘルメットに付けるため、バイクの進行方向に関係なく自分の見た景色が撮れる。さらに走りながら流れる景色を見た驚きの声や、その時に思ったことのつぶやきを、そのまま映像に重ねて記録することも可能だ。このマイクで同録できる機能は、ツーリングルートを映像と声で解説したり、ベテランライダーがお手本となる走りを示しながらそのポイントを説明する、といったことにも活用できる



## 「今」を解説

プリズム・チューブの用途はバイクに限らない。ドローンの使い方やスポーツの動きなど道具の操作や方法を説明するのに、プリズム・チューブで撮った自分目線の映像は有効だ  
※ 飛行場所は許可を得て撮影しています。



## 「声」をキーワードにした 新しいアクションカム

ブルートゥース・インターコム  
のセナが、これまでとは少し趣を変えたアイテムを登場させた。それは「プリズム・チューブ」という名の通り、プレーンな筒状の形をしたアクションカムだ。

フルHD画質の動画が撮れるという点はほかのアクションカムと変わらないが、大きく違うのは「声が入る」「声で分かる」という点。カメラ本体にスマートに取付けられる専用のマイクとスピーカーをキットに同梱している。カメラの内蔵マイクとは別にこの専用マイクを使うことで、動画を撮りながら自分の声を同時に録音することが可能だ。この声は、これまでセナが培ってきたノイズリダクション技術により、クリアな音で記録が可能になる。

一方、付属のスピーカーからは録画のオンオフを知らせる音声案内が流れるため、耳でカメラの状態を確認できる。

この「声」をキーワードにしていることこそ、セナのアクションカムたるポイントだ。その意味でも、プリズム・チューブは、アクションカムの世界にまた新しい一石を投じる画期的なアイテムになることだろう。

## 人気の「モトブログ」に ズバリお勧めのカメラ

プリズム・チューブで撮った動画は、ただパソコンやタブレットで見ただけではもったいない。動画投稿サイトやSNSにアップロードして、みんなに見てもらおう。走行動画の場合、カメラの内蔵マイクが拾ったエンジンや排気音、風の音だけでなく、どうしても長時間見ていると飽きてくる。その点、マイクで自分の声も同時に記録できるプリズム・チューブなら、ツーリングルートを説明したり、飛び込んでくる美しい景色に驚く声がそのまま記録できたりと、走りながらにして立派な動画の「コンテンツ」ができるのだ。



## PRISM TUBE

価格：2万1384円  
視野角：125度 録画時間：2時間  
※ 満充電の状態から録画できる平均時間

もちろん、車載したカメラで撮った動画に後で声の説明をさらに入れるのは大変だ。走りながら生の声が入れば、撮った動画ファイルをもそのまま動画投稿サイトにアップしても十分楽しめるコンテンツになる。なにより走りながら見た景色に反応した自分の声の方が、

これまでにアップロードされている動画も、市販のアクションカムに外部マイクを取付け、風切音対策をして撮っているようだ。しかし、風切音が抑えられるプリズム・チューブは、こうした工夫も必要ない。そういう意味でも、プリズム・チューブは、モトブログを楽しむのに最適なカメラだ。

ライブ感たっぷりだ。

ユーザーではこうした自分の声でいろいろな説明をしながら走る「MOTOVLOG(モトブログ(モト・ビデオ・ログの略))」が世界的に人気となっている。「モトブログ」のキーワードで検索してみれば、無数の面白いモトブログを見つけることができるだろう。

## 録画した動画をアップロード!



## YouTube

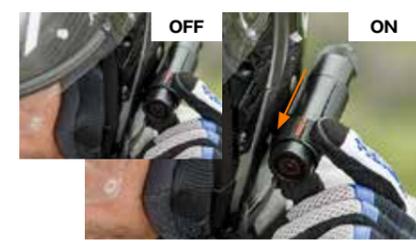
<https://www.youtube.com/>

YouTubeがGoogleアカウントがあれば、誰でも動画が投稿できる。ページ右上の「アップロード」をクリックして開いたページに、動画ファイルをドラッグ&ドロップすればOK

## [メモリー取付け例]



マイクロSDカードは本体後部のネジ式キャップを外してスロットに着脱する。このキャップはスピーカー&マイク用USBケーブルを使う場合、専用のものに取り換えて使う



スライドスイッチを前後させることで録画の開始、停止操作ができる。スイッチは筐体を一周するリング上で、グローブをはめた手でもオンオフ状態が分かりやすく操作しやすい

カメラを前から見てなるべく水平垂直が正しくなるように調整する。円筒形のため、カメラの上下が分かりにくい。スライドスイッチの赤い突起が真上になるようにするとい

カメラの上下方向の調整は、フレキシブルマウントの回転台を緩めて行う。あくまでもライディング時のヘルメットの角度を前提に角度を調整すること。思いのほか上向きになる

### トランシーバーも インターコムで使える

ライダーとパッセンジャー間だけでなく、今や仲間とのコミュニケーションツールとして定着したインターコム。これが登場するまでは、その主役は無線機（トランシーバー）だった。

今なおベテランライダーを中心に愛用されている無線機だが、バイクで使う際にはヘルメットに付けたヘッドセット（マイクとスピーカー）と無線機をケーブルでつないで使う必要がある。

このケーブルが何かと煩わしいのは、無線機ユーザーであれば誰しもが感じているところ。そんなケーブルをなくせるのが、セナのBluetooth用アダプタSR10だ。

これは、無線用のヘッドセットをインターコムに置き換え、無線機との間をBluetoothで結ぶためのアイテム。SR10は無線機のヘッドセット用コネクタに接続するだけで使え、ヘルメット側はセナ製品をはじめとした幅広いインターコムやBluetooth用ヘルメットセットが使える。無線の操作は送受信の切替えにPTTスイッチを使うが、これもちゃんとSR10に付属している、今まで通りの操作で通話ができる。

# 無線機も インターコムと 繋がる

## SR10



さらにSR10は無線以外にもナビやレーダー、スマホなどの音をひとつにまとめてインターコムに飛ばせるミキサー的な機能を持っている。そのため、インターコム側の操作も簡単になるのだ。そういう意味でもこのSR10は、無線も含めたあらゆる音声ソースの中心になる存在だといってい

### 取付方法



PTTスイッチは付属のゴム製バンドでグリップに巻き付けるか、面ファスナーなどでスイッチ付近に取付ける



付属のベルトクリップを背面に取付けられ、トランシーバーと一緒にベルトなどに引っ掛けて持ち運べる

SR10のサイズはスマートフォン程度なので、ハンディトランシーバーと同じように扱える。また、無線の送受信を行うPTTスイッチはハンドル付近に取付けて使う。本体にも大きなPTTボタンが付いているため、バイクから離れても送受信操作ができ便利だ。

### 機能



**インターコム**  
セナ製品をはじめ幅広いインターコムやBluetooth用ヘッドセットで利用可能。HFPプロファイルを持つ製品であれば原則として接続可能だ



#### スマートフォン

BluetoothでスマートフォンをSR10に接続すれば、SR10経由で電話の発着信が可能。また、原則としてスマホの音声全般が聞こえるため、スマホに入れた音楽（モノラル）を聴いたり、ナビアプリの音声を聞くのにも使える



#### AUX(外部入力)ポート1

ポータブルナビやレーダー探知機のような音声出力機器を接続するφ3.5mmミニフォンジャック。音楽プレーヤーを接続して使うのにも最適だ



#### AUX(外部入力)ポート2

レーダー探知機など音声出力機器を接続できるほか、スマホを4種のケーブルで接続すれば、スマホを通過でも使うことが可能になる



#### 双方向無線機用 DINポート

ハンディトランシーバーを接続するためのミニDINジャック。無線機メーカーによってプラグの形式が異なるため専用ケーブルを介して接続する

### オプション

SR10とトランシーバーの接続には無線機メーカーごとに用意された別売の専用ケーブルを使う。というのも無線機によってスピーカーマイク端子の形状が異なるためだ。現在、モトローラやミッドランド、ケンウッド、スタンダードといった主なメーカー別に7種類を用意。そのほかのメーカーや車載型無線機のためにコネクタを自作できるオープンエンドケーブルもある。



- 1) ICOM2ピン変換ケーブル
  - 2) 無線機カスタム接続用オープンエンドケーブル
  - 3) ミッドランド用2ピンケーブル
  - 4) Vertex Standard用1ピン変換ケーブル
  - 5) モトローラ用2ピン変換ケーブル
  - 6) モトローラ用1ピン変換ケーブル
  - 7) ケンウッド用2ピン変換ケーブル
  - 8) ICOM、ミッドランド用ストレート2ピン接続ケーブル。
- 価格はすべて3348円



右) 一般携帯電話、スマートフォン用接続ケーブル4極  
左) ノキア携帯電話用接続ケーブル。  
価格はすべて1512円



無線機専用ケーブルのコネクタはミニDINとなっていて、ロックがかかる構造のため抜けにくい



## SR10

価格:2万7216円
通話時間:12時間
連続待機時間:10日間
充電時間:3.5時間
通信距離:10m
(環境により異なる)

ハンディ型トランシーバーをBluetooth用ヘッドセットで使えるようにするワイヤレスアダプタ。レーダーやナビの音声もケーブルで入力できる

進化すること  
セナ製品の機能のひとつ

「話す」「聴く」「知る」「録る」「撮る」と、バイクライフの中で幅広い使い方ができるセナのインターコム。初めて手にした時点で、セナ製品にはたくさんの機能が詰め込まれているが、実はもう一つ、「進化する」という機能も与えられている。

インターコムの頭脳ともいえるプログラム「ファームウェア」は、その製品がデビューしてからも、メーカーで改良と開発の作業が続けられている。プログラムのバグ（誤り）を修正、新しい機能の追加だ。新しいファームウェアは、セナのサイト内会員専用ページで公開され、手持ちのセナ製品に入っているファームウェアを書きかえることで、常に最新のインターコムにアップデートできる。

例えば、購入したばかりのセナ製品は英語のガイドになっている

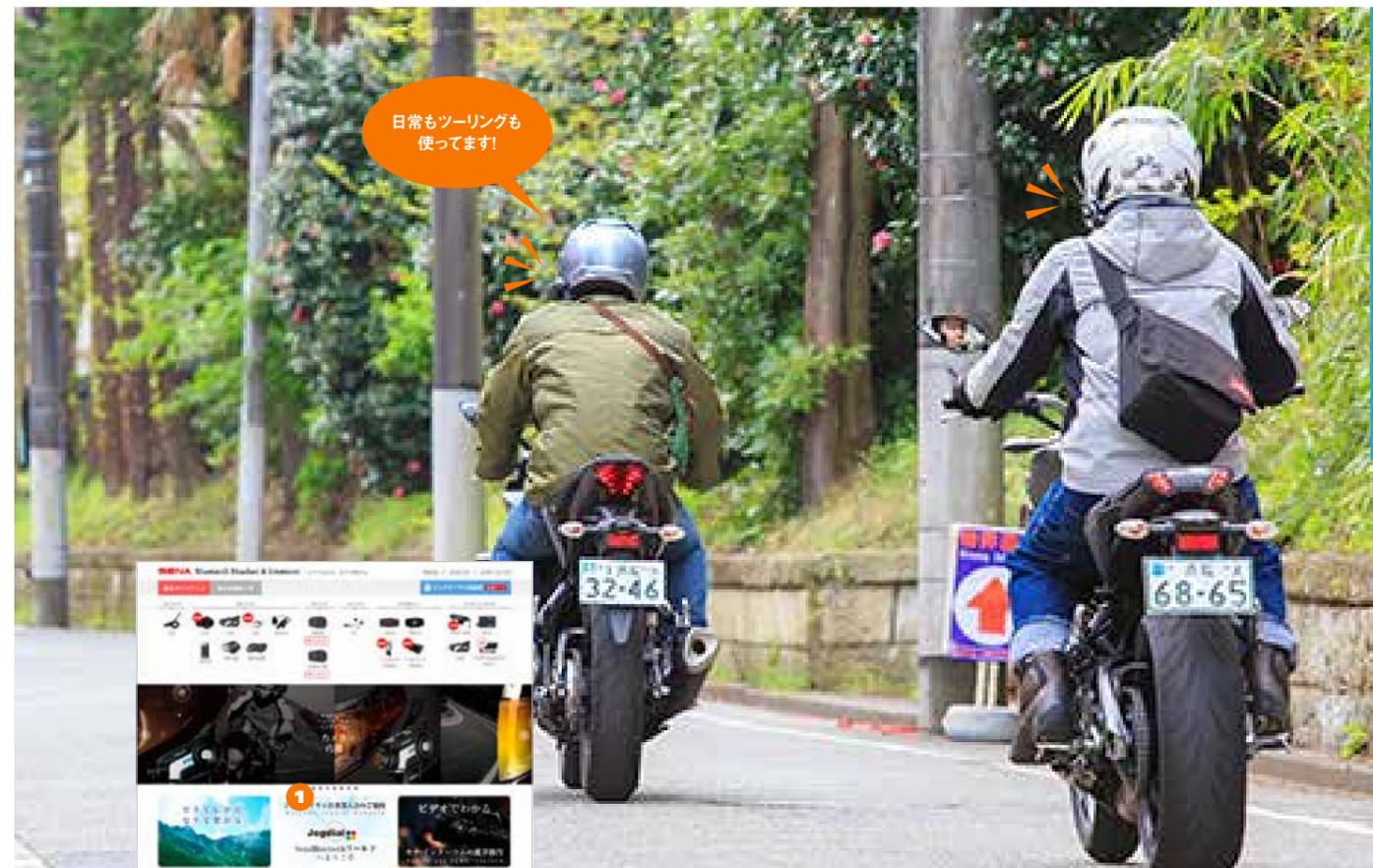
が、ここから日本語のファームウェアに書き換え可能だ。また、20Sであれば、リモコンへの対応、デュアルA2DP機能の追加など、デビューから2年で、さまざまな機能が追加されている。

新しいファームウェア情報は、パソコン上のセナ公式ホームページ最新情報から得たり、ダウンロードした専用ソフトを使ってアップデートすることから分かる。特にセナユーザーだけの会員制ページ「ジョグダイアル倶楽部」に登録しておけば、手持ちのセナ製品の情報に素早くアクセスできる。また、インターコムの使い方解説した数多くの動画は、とても分かりやすいとユーザーの間で定評がある。

このように、セナのホームページは、これからユーザーになろうという人に向けてはもちろん、今製品を持つユーザーにとつては、インターコムを使いこなすための情報源として、活用できるものとなっている。

# アップグレードしてますか？

PART 4 賢く使う



セナのインターコムを使うなら絶対オススメ!!  
**ジョグダイアル倶楽部とは!?**  
ユーザーを対象にした会員制サポートページ。アナタに今必要な情報がすぐに見つかる!

本体裏のシリアル番号で登録  
製品を登録することで、使い方の情報調べが簡単になる。登録にはシリアル番号とブルートゥースIDが必要で、これらは本体のラベル上に、またパッケージ箱に記載



SENAのインターコムすべてに対応したサイト  
製品別メニューは、もちろんSENAの全製品に対応。ハンドルリモコンから最新の10Sまで、さらにはインターコムカメラも含め、すべてのユーザーが活用することができる

## ジョグダイアル倶楽部 活用ガイド

- 1 最新情報**  
頻りに更新される各モデルのファームウェアのリリースや機能の追加、さらに新製品の発売といった最新情報を逐一掲載している「おしらせ」
- 2 機種別メニュー**  
SENA全製品のボタンが並び、サイトに登録してある製品は色が濃く、未登録の製品は薄いグレーになっている、一目で手持ちの製品がわかる
- 3 登録製品**  
登録製品の一覧では、シリアル番号と購入日、購入先を表示。また、機種ごとにワンタッチで問合せができるボタンもあってとても便利だ



設定方法をPCで確認  
インターコムの設定ガイドの動画やテキストが閲覧できる。機種ごとにページが分かれているため、必要な情報を素早く調べることができる



ダウンロードのページも用意  
最新のユーザーガイド（取扱説明書）や修理依頼書などがダウンロードできるほか、ファームウェアのアップデートページへのリンクもある



## セナのホームページで 使い方を紹介!!

- 1 ジョグダイアル倶楽部**  
セナユーザーのための会員制ページ。製品を登録して管理できFAQの参照や、最新版のファームウェアの情報などの特典がある。登録は無料
- 2 使い方動画**  
各製品の使い方を動画で紹介。インターコム同士やスマホとの接続方法などを知るのに便利だ。セナのYouTubeチャンネルを要チェック!
- 3 アップデートやイベント情報**  
新製品のリリース、解説動画の公開、展示会への出席情報など、セナの最新情報がわかる「お知らせ」ブロック

バッテリーの充電以外でUSBポートを使っていない?  
セナ製品には必ず付いているマイクロUSB端子。このポートは単に充電のためだけでなく、ファームウェアのアップデートにも使用する

# 最新のファームウェアにすれば より使いやすくなる！

ファームウェア更新にも使う  
充電用のマイクロUSB端子

常に更新されて続けているセナ製品のためのファームウェア。手持ちのインターコムを最新で、使いやすいものにするには、逐一新しいファームウェアに更新しておくことをオススメしたい。

更新はパソコンにセナが提供する専用ソフトをインストールし、パソコンとインターコムをUSBケーブルで接続して行う。作業はソフトの指示に従って進めるだけで、新しいファームウェアのダウンロードからインターコム側の書き換えまで簡単に進められる。

セナ製品のマイクロUSB端子はファームウェア更新と充電のためだ。セナのホームページを見ればファームウェアの更新は、セナのホームページ上、またはジョグダイヤル倶楽部へ登録しているユーザーにメールで随時アナウンスされてくる。充電の時にインターコムを常に最新状態にできるのだ。



## アップデートをすると何がかわるの？

ファームウェアを「セナブルトゥースデバイスマネージャー」のパソコンソフトを使い、進化できるSENAのインターコム。例えば20Sでは、後から登場したハンドルリモコンに対応したり、音楽プレーヤーやA2DP方式のナビといった2つのA2DP機器を使

る「デュアルA2DP」に対応するなど、アップデートで新しい機能が追加可能となった。また、2016年夏にはFMラジオ対応のモデルで、受信できる周波数帯域を拡張するなどアップデートのたびに便利に、そして使いやすくなっている

アップデートすれば  
ハンドルリモコンにも  
対応できる！



### 20S

価格：3万6072円（ソロ） 6万9984円（ペア）  
同時通話：8人 通信距離：最大2km

セナ・インターコムの最高峰モデル。2個のブルトゥースモジュールを搭載し、グループインターコムで最大8人との通話も可能だ

ループ録画で  
長時間の撮影も  
取り逃さない！



### 10C

価格：5万3784円  
同時通話：4人  
通信距離：最大1.6km

アクションカムと一体になったインターコム。フルHD画質の動画にインターコムを通じた会話の声を録音できる

## 専用ソフトを起動したパソコンと インターコムをUSBケーブルでつなぐ

パソコンソフト「セナブルトゥースデバイスマネージャー」を使えば、SENA製品のファームウェアの更新や復元ができるほか、インターコムの機能の設定といったこともできる。ファームウェアは頻りに更新されることもあり、SENA製品のユーザーであれば、このソフトをパソコンに入れて活用したいものだ

USB接続



### 10S

価格：2万9592円（ソロ）  
5万7024円（ペア）  
同時通話：4人  
通信距離：最大1.6km

ラインナップ中でスタンダードモデルに位置付けられる。最大4人との同時会話や、デュアルA2DPといった機能も搭載する



セナブルトゥース  
デバイスマネージャーを  
起動



あとはアップデートを  
画面上の案内通りに  
進めるだけだ

ファームウェアの更新は、パソコンにインターコムを接続し、「デバイス認識」を押せば自動的にソフトが機器を識別。更新が必要であれば、ソフトの指示通りに作業すればいい



PCからも  
設定可能！

ソフトを使えば、インターコム内のさまざまな機能の設定ができる。特にSpeedダイヤルやFMラジオ周波数の数字の入力にはとても便利だ

### 【20Sと10Sの場合】

#### 20S アップグレード歴

2014年

- 9月 オーディオブースト機能を追加
- 11月 日本語音声案内

2015年

- 4月 リモートコントローラーも対応を開始
- 8月 スマートボリュームコントロール機能を追加（周囲の環境音、ノイズに合わせて音量を調整する機能）
- 12月 デュアルA2DP機能を追加（最大2台までのA2DPを同時に接続）

2016年

- 6月 GPS専用ペアリングがA2DPに対応
- 9月 日本仕様のFMラジオ帯域を76.0～95.0MHzに変更

#### 10C アップグレード歴

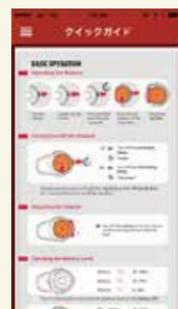
2016年

- 7月 ループ録画機能の追加  
ビデオタギング録画の録画感覚設定（1.3.5分）  
グループインターコム機能を追加  
デュアルA2DP機能を追加（2台目の電話ペアリング時、HFP、A2DP両方にペアリング可能）  
HDインターコム機能を追加  
日本仕様のFMラジオ帯域を76.0～95.0MHzに変更

スマホ用アプリ（日本語）も  
使い方をチェックできる

インターコムの機能やグループインターコムの設定ができるアプリが「セナアプリ」。画面を見ながら操作できるのが便利。このアプリも随時最新バージョンが公開されていて、アップデートをお忘れなく

**SENA アプリ**  
対応機種：iOS、Android  
価格：無料



クイックガイド

インターコムの使い方に困ったらアプリの「クイックガイド」をタップ。取扱説明書（英語）が読める

#### インターコムの設定

インターコムの各種機能も設定できる。特にスピードダイヤルやFMラジオの周波数入力にはとても便利だ



#### グループインターコム

グループインターコムの設定はアプリから。メンバーを登録してリストを作り、インターコムに送信する



#### 基本設定

#### グループインターコム

#### クイックガイド

※ スマホのアプリでファームウェアのアップデートはできません

## セナのリモートコントローラーを使う

周辺機器(リモートコントローラー)



最新情報は、セナ・ブルートゥースジャパン公式サイトを参照ください。

周辺機器(リモートコントローラー)

## RC3 よりシンプルに、より多くの操作を



ハンドルバー以外の場所にリモコンが欲しい方へ。  
取り付ける場所の選択肢が増えたバーサタイルデザイン。

RC3の取り付け方法は、3種類(クリップで好きな箇所に、両面テープでバイクのボディ部分に、ベルクロテープで貼り付ける)。3ボタンデザインで操作はとても簡単です。

サイズ:W64.2mm × D27.9mm × H11.6mm 重量:11g

周辺機器(リモートコントローラー)

## RC4 ハンドルを握ったままでインカム操作



気を散らすことなく、より安全なライドを楽しむ。

RC4はハンドルバーから手を離すことなく、全てのヘッドセット操作を行えるように設計されました。マルチファンクションボタンで、20Sのアンビエントボタンや、10Cのカメラボタンにも対応、また、10シリーズのグループインターコム操作に対応するようになりました。

サイズ:W76.5mm × D39.0mm × H15.5mm 重量:28g

## HANDLEBAR REMOTE



セナのインターコムを、  
ハンドルの手元で操れる。

ハンドルバーになじむスマートなデザインに加え、走行中インカム操作時に片手をハンドルグリップから離すことなく、全てハンドル上で操作が可能となります。

サイズ:W84.4mm × D50.7mm × H24.0mm 重量:54g

## WRISTBAND REMOTE



リストバンド型リモコン。

グローブをはめたままでも簡単に操作できるボタン、ジョイスティックを装備した、腕やバイクの車体に取り付け可能なりモコンです。このリストバンドからインターコムを操作することにより、走行中も運転に集中できます。

サイズ:W46.7mm × D64.6mm × H24.7mm 重量:26g

## セナ製品をもっと便利にお使いいただくために

グループインターコム・マルチウェイインターコムを使用する際のこつ

- お互い、ペアリングで繋いだ順番を覚えておき、その順番で走行するようにしましょう。
- すべてのヘッドセット設定はHDインターコムをオフにしましょう。
- 走行中、誰かBluetooth接続が切れた人がいないか、お互い声をかけあいましょう。
- 実際の走行前に、あらかじめグループ接続を行い、接続が切れた場合のボタン操作も事前に練習しておきましょう。

HDインターコム(工場出荷時にはオン)

HDインターコム機能をオンにすると、相手の声がとてもクリアに聞こえるようになりますが、著しく電力を消費し、また通信距離も非常に短くなります。1:1のタンデム走行時以外のご使用においては本機能をオフにしてお使いになることをおすすめします。

インターコム間の通信距離、バッテリーの持続時間に関して

市街地や、または他の電波を飛ばす機器からの電波干渉や障害物(電線、携帯電話の電波塔、工場、飛行場、基地、住宅、無線機器をつんだタクシーやトラックなど)がある場合は、インターコム通信の最大距離は大きく影響をうけ、通常より通信が途切れたり、ノイズが入ったりすることがあります。また障害となる電波、障害物の多い環境、通信距離、また接続するスマホなどの周辺機器の種類により、通常よりバッテリー(※)の減り具合は早くなる場合があります。

(※)ユーザーガイドやウェブページに記載されている連続使用時間とは、他のBluetooth機器をつなぐ、インターコム通信のみを連続で行った状態での計測時間のことです。

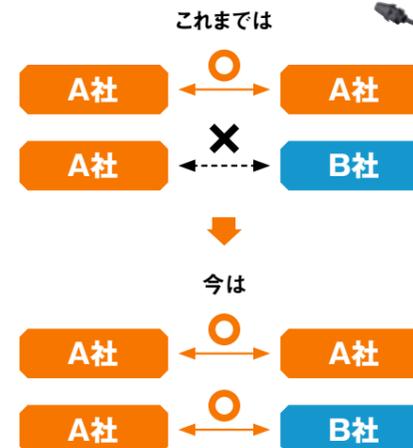
さらに詳しくなるために

- ・会員サイトに登録しましょう。
- ・セナ動画を見て使い方を学びましょう。
- ・FAQを参照して機器について知りましょう。
- ・わからないことがあれば、会員サイトのフォームから、サポートに問い合わせましょう。

インターコムは同じメーカーの製品同士でしか通話ができないというのが今までの常識だった。しかし、セナのインターコムに搭載されているユニバーサルインターコム機能を使えば、セナ以外の製品と接続して通話することが可能だ。この機能を使えるメリットは大きい。というのも、例えば4人のメンバーでツーリングに行く場合全員がインターコムで通話しようとする、当然全員が同じメーカーのものを揃える必要があるが、これはなかなか難しい。しかし、この機能があれば、メンバーのうち2人がセナ以外のインターコムを使ってもグループで会話が可能。また、旅先で出会ったライダーがセナ以外であっても一緒に走りながら会話もできる。つまりこの機能でメーカー間の壁を超えた、新しいコミュニケーションが生まれるのだ。

## 「ユニバーサルインターコム」機能

インターコムのいわゆる通話機能には、各メーカー独自の工夫がなされているため、原則として同じメーカーの製品同士でないとインターコム通話ができない。これはセナの製品にも当てはまる。ただし、ユニバーサルインターコム機能を使えば、HFPプロファイルに対応したインターコムや携帯電話用ヘッドセットであれば、ペアリングしてインターコム通話ができる。このユニバーサルインターコム機能は、現在3Sを除くすべてのセナのインターコムに搭載されている。

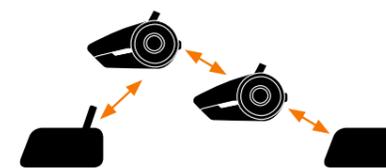


他社製品

<b>20S</b> 価格:3万6072円(ソロ) / 6万9984円(ペア) 最大通話人数:8人 同時通話:8人 通信距離:最大2km	<b>10C</b> 価格:5万3784円 最大通話人数:4人 同時通話:4人 通信距離:最大1.6km
<b>10S</b> 価格:2万9592円(ソロ) / 5万7204円(ペア) 最大通話人数:4人 同時通話:4人 通信距離:最大1.6km	<b>10U</b> 価格:4万2984円 最大通話人数:4人 同時通話:4人 通信距離:最大1.6km
<b>SMH5</b> 価格:1万7712円(ソロ) / 3万3264円(ペア) 最大通話人数:4人 同時通話:2人 通信距離:最大400m	<b>SMH5-FM</b> 価格:2万304円 最大通話人数:4人 同時通話:2人 通信距離:最大700m

※3Sにはありません

## 20S、10U、10C、10Sではマルチウェイでもユニバーサルインターコム



単に他社インターコムと1対1で接続するだけでなく、2台以上のセナイターコムと2台の他社インターコムで4人までの同時通話も可能。20Sの場合は最大8台までのマルチウェイインターコム通話に対応し、そのうち他社製は最大2台まで接続できる

## 繋がるアプリ機能(20S、10C、10U)



ペアリングリスト

スマホアプリ「SENAアプリ」を使えば、インターコムにペアリングしているブルートゥース機器を一覧できる。さらに機器の名前を自分で分かる文字列に変更することも可能だ

スピードダイヤル

SENAのインターコムは声で呼び出して電話ができる「スピードダイヤル」のメモリーを持っている。「SENAアプリ」では、このメモリーに登録する電話番号をスマホから入力できる



他社インターコムと話せて仲間が増える！

新製品 2017 ※ 最新情報は、セナ・ブルートゥースジャパン公式ウェブサイトをご参照ください。

ヘッドセット&インターコム(モーターサイクル)

## 30K Sena 30Kが始める新世代インターコムコミュニケーション



### Sena 独自の革新的メッシュネットワーク技術により、グループインターコム通信がさらに便利に。

Sena 適応型メッシュネットワーク技術は、ライダーのコミュニケーション方法を変えてゆきます。従来の数珠繋ぎ通信方式をやめ、代わりに網目(メッシュ)状にお互いつながる方式を新たに採用しました。

そのため、グループ会話中、メンバーの一人が通信範囲外に消えても、本技術により残りのメンバーが続けて会話を続けることができるようになりました。

### もうだれも「仲間外れ」にはしません。

Sena 適応型メッシュネットワーク通信システムは、Bluetooth通信と同時に通信しながら、さらに多くの仲間をグループ通話に招待できます。その秘密は、別々の通信規格を使用するためのデュアルアンテナと、2つの独立したプロセッサー、Bluetoothプロセッサーと適応型メッシュネットワークプロセッサーです。30Kはこの二つを同時に駆動し、30K同士とも、また他機器のBluetoothヘッドセットとも、おしゃべりが「繋がる」ようになります。

さらにRideConnectedと組み合わせれば、楽しいツーリングで大人数で出かける時も、待ち合わせ時間に間に合わないときも、ツーリング仲間とあなたはどこにいても常に繋がっています。

### オーディオマルチタスクを再定義したら、もっと多くの情報がスムーズに聞こえてくるようになりました。

30Kオーディオマルチタスク技術は、Bluetooth通信と適応型メッシュネットワーク通信を同時に行います。スマホのストリーミング音楽の再生、電話のおしゃべり、またはGPSナビの音声案内がお互いをさえぎることなく同時に聞こえてきます。従来の割り込み型の音声優先順位に悩まされる必要はありません。全ての音源が綺麗に織り合わされ、あなたの耳元にここよく届きます。

※ 写真は、アンテナを取めた姿とアンテナを立てた姿です。

※ 本製品は開発中(2017年3月現在)であり、予告なく仕様の変更が行われることがあります。

周辺機器(アダプター)

## FREEWIRE

Harley用およびHonda®用の車載オーディオ・ナビシステム音声、ヘッドセットとBluetoothでつなぐためのアダプター



### Harley用およびHonda®用の車載オーディオ・ナビシステムをご利用の方へ。

ケーブルによる制約を取り除いたワイヤレスソリューションです。Senaインターコム製品と一緒に使えば、さらに素晴らしいオーディオ体験を可能にします。

Senaインターコム製品を通して、あなたのバイクと「繋がり」、より便利なオーディオ体験を楽しんでください。

AUX端子を使えば、車載オーディオ・ナビシステムに加え他のメディアも追加可能です。

## 世界中のライダー仲間と繋がる

### あなたのスマホでつながる。

Sena RideConnectedアプリは、世界中のライダー仲間とコミュニケーションを取るためにデザインされたiPhone/Android 専用アプリです。このアプリを使えば、従来のインカム通話のようにBluetoothの最大通信距離や最大通話人数の制限にしばられることなく、モバイルデータ通信を使用してより多く、より遠くの仲間とグループ会話が可能になります。



← お気に入りのプロフィール画像をつかって、自分のプロフィールページを作成した後は、自由に好きなだけ多くの仲間を、あなたのライディング中のおしゃべりに招待できます。

ヘッドセット&インターコム(汎用)

## TUFFTALK

仕事で使う  
生産効率を高める仕事の仕方をご提案



マフ付きオーバーヘッドヘッドセットモデル  
(モデル:TUFFTALK-01)



マフ付きヘルメットに装着するモデル  
(モデル:TUFFTALK-02)

### 「インターコム通信」というソリューション。両手が使えます。

Tufftalk(タフトーク)は、作業に集中しながら、4人(4つのヘッドセット同士)で1.4kmの距離で驚くほど明瞭な通話コミュニケーションが可能です。

外部の騒音から耳を守りつつ、アンビエントモードを使い、周囲の状況に耳をすませることもでき、ジョグダイヤルによる簡単操作、および長時間持続するバッテリーにより、手元の作業に集中できます。



ヘッドセット&インターコム(バイシクル&アウトドア)

## SMART CYCLING HELMET

### 話す、聞く・聴く、撮る、知る。全てができる、スマートサイクリングヘルメット。

Bluetoothインターコムで「話す」「聞く」、電話を「受ける」「かける」。スマートフォンの音楽を「聴く」。カメラで「撮る」、スマートフォンで「観る」。アプリからのフィットネスデータを「知る」。この全てができるサイクリングヘルメットです。



製品モデル機能を比べる

ヘッドセット & インターコム(モーターサイクル)



		30K	20S	10S	10U	10C	SMH10	SMH5	SMH5-FM	3S
基本スペック	Bluetooth	ver 4.1	ver 4.1	ver 4.1	ver 4.1	ver 3.0				
	デュアルモジュール	○	—	—	—	—	—	—	—	—
	FMラジオ	○	○	○	○	—	—	○	—	—
	連続通話時間 ※1	13時間	12時間	10時間	17時間	12時間	8時間	7時間	8時間	8時間
インカム機能	待ち受け時間	10日間	10日間	未定	未定	10日間	7日間	6日間	7日間	7日間
	通信距離 ※2	2000m	1600m	1600m	1600m	900m	400m	700m	200m	200m
	インカム同時通話会話人数	8人	4人	4人	4人	4人	2人	2人	2人	2人
	インカムフレンド登録人数 ※3	9人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	1人	1人
HFP・A2DP機能	インカム通話時ノイズ削減	○	○	○	○	○	○	○	—	—
	グループインターコム	○	○	○	○	—	—	—	—	—
	ユニバーサルインターコム ※4	○	○	○	○	○	○	○	—	—
	オーディオマルチタスク ※5	○	—	—	—	—	—	—	—	—
カメラ機能	ミュージックシェアリング ※6	○	○	○	○	○	○	○	—	—
	2台目の電話ペアリング ※7	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	スピードダイヤル ※8	○	○	○	○	○	○	○	—	—
	デュアルA2DP ※9	○	○	○	○	—	—	—	—	—
その他の機能	HD(1080p:30fps)ビデオモード	—	—	—	○	—	—	—	—	—
	ループ録画	—	—	—	○	—	—	—	—	—
	静止画	—	—	—	○	—	—	—	—	—
	バースト	—	—	—	○	—	—	—	—	—
その他の機能	タイムラプス	—	—	—	○	—	—	—	—	—
	HD音質録音	—	—	—	○	—	—	—	—	—
	HDMI出力	—	—	—	○	—	—	—	—	—
	全天候対応	○	○	○	○	○	○	○	—	※10
その他の機能	ボイスコマンド ※11	○	—	—	—	—	—	—	—	—
	NFCでペアリング ※12	○	—	—	—	—	—	—	—	—
	ハンドルバー・リモートボタン ※13	○	○	○	○	—	—	—	—	—
	モーションセンサー ※14	○	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の機能	SENA アプリ ※15	○	○	○	○	—	—	—	—	—
	RideConnected アプリ ※16	○	○	○	○	△	△	△	△	△

※1.接続する機器、その数、インターコム会話の距離、使用される環境によって変動します。A2DP通信、また10Cのカメラ機能をお使いの場合は大幅に短くなります。 ※2.Bluetoothには電波の指向性があります。電波に影響をあたえる環境、遮蔽物の有無、マルチ接続会話人数、また、機器のバッテリー状況で通話距離、通信可能時間は大きく変動し、市街地では数百mぐらいの通信距離になることもあります。また20Sをお使いの場合、タンデム以外のご使用ではHDインターコム機能はオフにしてお使いください。 ※3.ジョグダイヤルを押して会話相手を切り替える1:1通話人数(自分を含まない)です。 ※4.他社のインターコムとペアリング、通話する機能です。 ※5.インカム通話中にバックグラウンドで音楽、ナビ音声がかかってくる機能です。 ※6.2台のインカムで音楽共有する機能です。 ※7.2台のスマホとペアリングする機能です。20Sは2台の機器とHFP&A2DPで接続、その他の機種はHFPのみで接続します。 ※8.インカムに電話番号を登録し、ボタンタッチで電話をかける機能です。 ※9.合計2つのA2DPを同時にBluetooth接続する機能です(要最新ファームウェア)。 ※10.ヘルメット内蔵型ですが、本体自体は防水仕様ではありません。 ※11.インカムに話しかけ、各種操作を命令する機能です。 ※12.スマホとインカムをタッチして、ペアリングする機能です。 ※13.別途ハンドルバー・リモコン、またはリストバンド・リモコンが必要となります。(10Uにはハンドルバー・リモコン同梱)。 ※14.インカム同士を振ってペアリングしたり、インターコムをタッチしてボイスコマンドを起動する機能です。 ※15.SENA アプリを使って、インカムの各種設定、グループ通話設定(設定内容は機器の機能により異なります)。 ※16.RideConnectedアプリの操作:○=インカムボタンから操作可、△=スマホから操作可。

※1.接続する機器、その数、インターコム会話の距離、使用される環境によって変動します。A2DP通信、また10Cのカメラ機能をお使いの場合は大幅に短くなります。 ※2.Bluetoothには電波の指向性があります。電波に影響をあたえる環境、遮蔽物の有無、マルチ接続会話人数、また、機器のバッテリー状況で通話距離、通信可能時間は大きく変動し、市街地では数百mぐらいの通信距離になることもあります。また20Sをお使いの場合、タンデム以外のご使用ではHDインターコム機能はオフにしてお使いください。 ※3.ジョグダイヤルを押して会話相手を切り替える1:1通話人数(自分を含まない)です。 ※4.他社のインターコムとペアリング、通話する機能です。 ※5.インカム通話中にバックグラウンドで音楽、ナビ音声がかかってくる機能です。 ※6.2台のインカムで音楽共有する機能です。 ※7.2台のスマホとペアリングする機能です。20Sは2台の機器とHFP&A2DPで接続、その他の機種はHFPのみで接続します。 ※8.インカムに電話番号を登録し、ボタンタッチで電話をかける機能です。 ※9.合計2つのA2DPを同時にBluetooth接続する機能です(要最新ファームウェア)。 ※10.ヘルメット内蔵型ですが、本体自体は防水仕様ではありません。 ※11.インカムに話しかけ、各種操作を命令する機能です。 ※12.スマホとインカムをタッチして、ペアリングする機能です。 ※13.別途ハンドルバー・リモコン、またはリストバンド・リモコンが必要となります。(10Uにはハンドルバー・リモコン同梱)。 ※14.インカム同士を振ってペアリングしたり、インターコムをタッチしてボイスコマンドを起動する機能です。 ※15.SENA アプリを使って、インカムの各種設定、グループ通話設定(設定内容は機器の機能により異なります)。 ※16.RideConnectedアプリの操作:○=インカムボタンから操作可、△=スマホから操作可。

RideConnected アプリ

モバイルデータ通信を使用するグループ通話用スマホアプリです。スマホの画面でグループを作成後、人数や距離を気にせずにグループ会話が可能になります。

SENA アプリ

Senaインターコムの各種設定を行うためのスマホアプリです。様々な機能設定やFMラジオ等の設定が可能です。

(ご注意)

※ 上記のモデル別機能一覧は、2017年3月1日現在の内容になります。内容は断りなく変更される場合がございます。 ※ 最新の内容は、セナ・ブルートゥースジャパン公式サイトを参照ください。

ヘッドセット & インターコム(汎用)



		TUFFTALK	SPH10	BT10	PRISM TUBE
基本スペック	Bluetooth	ver 4.1	ver 3.0	ver 3.0	—
	連続使用時間	15時間	8時間	6時間	—
	待ち受け時間	未定	7日間	6日間	—
	通信距離	1400m	900m	350m	—
インカム機能	インカム同時通話会話人数	4人	4人	4人	—
	インカムフレンド登録人数	3人	3人	3人	—
	インカム通話時ノイズ削減	○	○	○	—
	ユニバーサルインターコム	○	○	○	—
HFP・A2DP機能	オーディオマルチタスク	—	—	—	—
	ミュージックシェアリング	—	○	○	—
	2台目の電話ペアリング	○	○	○	—
	スピードダイヤル	○	○	—	—
カメラ機能	デュアルA2DP	○	—	—	—
	HD(1080p:30fps)ビデオモード	—	—	—	○
	ループ録画	—	—	—	○
	静止画	—	—	—	—
その他の機能	タイムラプス	—	—	—	—
	HD音質録音	—	—	—	—
	HDMI出力	—	—	—	—
	全天候対応	—	○	○	○
その他の機能	ボイスコマンド	—	—	—	—
	NFCでペアリング	—	—	—	—
	ハンドルバー・リモートボタン	—	—	—	—
	モーションセンサー	—	—	—	—
その他の機能	SENA アプリ	○	—	—	—
	RideConnected アプリ	○	△	△	—

※1.相手側機器のBluetoothスぺックに依存します。 ※2.ハウジング必要です。

カメラ



周辺機器(アダプター)



		SR10	SM10	GP10	FREEWIRE
基本スペック	Bluetooth	ver 2.1+EDR	ver 2.1+EDR	ver 3.0	ver 4.1
	連続使用時間	12時間	8時間	3時間	7時間
	待ち受け時間	10日間	3日間	3日間	未定
	HFP対応	○	—	○	—
対応機器	A2DP対応	—	○	—	○
	AVRCP対応	—	○	—	—
	インターコムプロファイル対応	—	—	○	—
	Bluetooth通信距離 ※1	10m	10m	100m	未定
その他	ナビ(HFP/A2DP)	○	○	—	○
	GPSレーダー	○	○	—	○
	オーディオ	△	○	—	○
	GpPro®(3,3+,4)	—	—	○	—
その他	無線機器	○	—	—	—
	Harley/Hondaオーディオシステム	—	—	—	○
	携帯電話とHFP接続	○	—	—	—
	全天候対応	○	○	○	※2
その他	3.5mm AUX 外部端子	2	2	—	1
	無線機器用ケーブル端子	○	—	—	—
	PTTボタン	○	—	—	—

※1.相手側機器のBluetoothスぺックに依存します。 ※2.ハウジング必要です。

周辺機器(リモートコントローラー)



		HR	WBR	RC1	RC3	RC4
基本スペック	Bluetooth	ver 4.1	ver 4.1	—	ver 4.1	ver 4.1
	連続使用時間	3ヶ月	3ヶ月	—	5ヶ月	5ヶ月
	GAP	○	○	—	○	○
	GATT	○	○	—	○	○
可能操作	Bluetooth通信距離 ※1	10m	10m	—	10m	10m
	ジョイスティック	○	○	—	—	—
	ボタン数 ※2	3	3	—	3	4
	インターコム操作	○	○	—	○	○
その他	オーディオ操作	○	○	—	○	○
	音量操作	○	○	—	○	○
	ペアリング操作	○	○	—	○	○
	20Sアンビエントボタン操作	—	—	—	—	○
その他	10Cカメラボタン操作	—	—	—	—	○
	全天候対応	○	○	—	○	○
	取り付け位置	ハンドルバー	自由	—	自由	ハンドルバー
	バッテリー	内蔵リチウム	内蔵リチウム	—	CR2016	CR2016

※1.相手側機器のBluetoothスぺックに依存します。 ※2.ジョイスティックも含まれます。